

平成24年行政事業レビューシート							環境省	
事業名	建築物等エコ化可能性促進事業		担当部局庁	環境省総合環境政策局		作成責任者		
事業開始・終了(予定)年度	平成20年度		担当課室	環境経済課		環境経済課長 正田 寛		
会計区分	一般会計		施策名	8-1 経済のグリーン化の推進				
根拠法令 (具体的な条項も記載)	-		関係する計画、通知等	環境基本計画				
事業の目的 (目指す姿を簡潔に。3行程度以内)	更新期を迎える集合住宅やオフィスビルの個々の事例について、①元の集合住宅・オフィスビルを解体して新しい建築物を建築するスクラップアンドビルド②元の集合住宅・オフィスビルの構造を活用して改築・改修を行うリニューアルのどちらがライフサイクル全体からみて環境負荷が低くなるか試算することを可能とする手法の開発を行うことを目的としている。							
事業概要 (5行程度以内。別添可)	更新期を迎える集合住宅やオフィスビルについて、生産から廃棄までの付加的環境負荷及び追加投資について、当該事業計画による集合住宅・オフィスビルの予想残存活用期間やエネルギー使用量の見込みを簡便に評価する手法を確立するため、平成22年度までに検討してきた評価手法を使用したケーススタディ及び有識者による検討会、モデル事業を開催し、最終的な評価手法を確立する。							
実施方法	<input type="checkbox"/> 直接実施 <input checked="" type="checkbox"/> 委託・請負 <input type="checkbox"/> 補助 <input type="checkbox"/> 負担 <input type="checkbox"/> 交付 <input type="checkbox"/> 貸付 <input type="checkbox"/> その他							
予算額・執行額 (単位:百万円)	予算の状況	当初予算	21年度	22年度	23年度	24年度	25年度要求	
		補正予算	8	7	6	-	-	
		繰越し等	0	0	0	-	-	
		計	8	7	6	-	-	
	執行額	8	5	5	-	-		
	執行率 (%)	100	78.8	87.5	-	-		
成果目標及び成果実績 (アウトカム)	成果指標		単位	21年度	22年度	23年度	目標値 (年度)	
	本事業の目的は、一定期間経過した建築物に対して、スクラップアンドビルドするか、リニューアルするかのどちらが環境負荷が少なくなるかを評価する手法を構築することであり、定量的な成果目標、成果実績を設定するのが困難である。		成果実績					
活動指標及び活動実績 (アウトプット)	活動指標		単位	21年度	22年度	23年度	24年度活動見込	
	検討会開催回数		回	1	3 ( 3 )	2 ( 3 )	- ( - )	
単位当たりコスト	(円/ )		算出根拠	本事業は建築物の環境負荷等について検証調査・調査分析およびモデル事業を実施しており、検討会開催回数だけの費用から単位当たりのコストを算出することは困難である。				
平成24・25年度予算内訳	費目	24年度当初予算	25年度要求	主な増減理由				
	-	-	-	平成23年度限りの予算				
	計	-	-					

事業所管部局による点検			
	評価	項目	評価に関する説明
目的・予算の状況	○	広く国民のニーズがあり、優先度が高い事業であるか。	高度経済成長期に建設された集合住宅やオフィスビルについては、更新時期を迎えており、建替えや改修を含め、良好なストックビルを有効に活用することが求められている。 良好なストックビルを活用することによって、社会全体の環境負荷の低減も望めることから国が積極的に実施すべき事業である。
	○	国が実施すべき事業であるか。地方自治体、民間等に委ねるべき事業となっていないか。	
	○	不用率が大きい場合は、その理由を把握しているか。	
資金の流れ、費目・使途	○	支出先の選定は妥当か。競争性が確保されているか。	企画競争入札の3年目であり、その随意契約に関しては、省内に設置されている契約委員会に諮問して行われることから支出先の妥当性は確保されている。
	-	単位あたりコストの削減に努めているか。その水準は妥当か。	
	-	受益者との負担関係は妥当であるか。	
	-	資金の流れの中間段階での支出は合理的なものとなっているか。	
	○	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	
活動実績、成果実績	○	他の手段と比較して実効性の高い手段となっているか。	活動実績については、おおむね見込みにあった活動実績となっている。 また、成果物についても、今後ストックビルを所有するオーナー等に適切に活用されると見込まれる。
	-	適切な成果目標を立て、その達成度は着実に向上しているか。	
	○	活動実績は見込みに見合ったものであるか。	
	-	類似の事業があるか。その場合、他部局・他府省等と適切な役割分担となっているか。	
	-	※類似事業名とその所管部局・府省名	
	○	整備された施設や成果物は十分に活用されているか。	
点検結果	平成20年からの事業の最終年度として、これまでの検討結果を適切に反映した成果物を得られた。 今後ストックビルを所有するオーナー等に適切に活用され、良好なストックビルが有効に活用されることが期待される。		
予算監視・効率化チームの所見			
廃止	当該事業については、平成23年度で廃止		
上記の予算監視・効率化チームの所見を踏まえた改善点(概算要求における反映状況等)			
廃止	-		
補記 (過去に事業仕分け・提言型政策仕分け・公開プロセス等の対象となっている場合はその結果も記載)			
関連する過去のレビューシートの事業番号			
平成22年行政事業レビュー	237	平成23年行政事業レビュー	270

※平成23年度実績を記入

環境省  
5百万円



【随意契約】

A. (株)石本建築事務所  
5百万円

建築物等エコ化可能性評価  
に係る文献調査・有識者に  
よる検討会開催等

資金の流れ  
(資金の受け  
取り先が何を  
行っているか  
について補足  
する) (単  
位: 百万円)

A.(株)石本建築事務所			E.		
費目	使 途	金額 (百万円)	費目	使 途	金額 (百万円)
人件費	文献調査・有識者による検討会開催等業務(74人日)	3			
諸謝金	検討会委員謝金	1			
旅費	検討会委員旅費				
借料	検討会会場費				
会議費	検討会会議費				
印刷製本費	報告書等	1			
一般管理費					
計		5	計		0
B.			F.		
費目	使 途	金額 (百万円)	費目	使 途	金額 (百万円)
計		0	計		0
C.			G.		
費目	使 途	金額 (百万円)	費目	使 途	金額 (百万円)
計		0	計		0
D.			H.		
費目	使 途	金額 (百万円)	費目	使 途	金額 (百万円)
計		0	計		0

費目・使途  
 (「資金の流れ」  
 においてブロックごとに最大の金額が支出されている者について記載する。費目と使途の双方で実情が分かるように記載)

支出先上位10者リスト

A.

	支 出 先	業 務 概 要	支 出 額 (百万円)	入札者数	落札率
1	(株)石本建築事務所	建築物等エコ化可能性評価に係る文献調査・有識者による検討会開催等		5 随意契約	